

新型コロナウイルス軽症者の搬送等に活用する車両第1号の納車がありました。

全国(全世界)の皆様から、「エールを北の医療へ！」寄附事業寄附金としていただきました資金を原資として、道が発注した、「新型コロナウイルス軽症者等搬送用車両」の第1号が、12月24日(木)の朝、納車されました。

この車両は、日産セレナ4WDをベースに、運転席と後部座席の間に、着脱可能な、感染防止用ビニルシートを施し、軽症感染者等を、医療機関や宿泊療養施設に搬送するために活用します。

第1号は、道本庁舎前で、鈴木知事立ち会いの下、引き渡しを受け、即日、江別保健所に配置されました。

この配置を皮切りに、今後、全道26カ所の保健所に、順次配置する予定です。



新型コロナウイルス軽症者の搬送等に活用する車両の側面



運転席と後部座席の間に施した、着脱可能な感染防止用ビニルシート



札幌日産自動車（株）役員から説明を受ける鈴木知事(手前)